



令和 6 年 12 月 吉日

報道機関 各位

東京都台東区・池波正太郎記念文庫 姉妹館連携事業 写真展「『鬼平犯科帳』の舞台を歩く」 開催のお知らせ

池波正太郎の代表作のひとつである『鬼平犯科帳』の舞台となった東京・京都を取材・撮影し、長谷川平蔵の役宅がある江戸城・清水門外（現・千代田区役所付近）や、平蔵が同心・木村忠吾と鯉料理に舌鼓を打った京都・愛宕神社にある掛け茶屋「平野や」（※実際の店舗名は「平野屋」）など、物語の中で印象深く登場する場所の現在の様子を、関連資料とあわせて写真展示します。

期 間	令和6年12月21日（土）～ 令和7年2月23日（日）
時 間	午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分まで）
休館日	毎週水曜日 ※年末年始：12月29日（日）～ 令和7年1月3日（金） ※振替休館：1月14日（火）、2月13日（木）
場 所	池波正太郎真田太平記館
入館料	一般400円、高大学生260円、 小中学生130円（市内高校生以下は無料） ※団体・障害者手帳所持者割引あり
問合せ	池波正太郎真田太平記館 （電話：28-7100）

※企画展について・画像使用等に関するお問い合わせは、下記担当までご連絡ください。

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

上田市 産業振興部商工課
池波正太郎真田太平記館

担当：小林・竹内
電話：0268-28-7100（直通）
FAX：0268-28-7101
E-mail：taiheikikan@city.ueda.nagano.jp

東京都台東区・池波正太郎記念文庫

姉妹館連携事業

写真展

「鬼平犯科帳」の

舞台を歩く

京都・掛け茶屋〔平野や〕(京都市右京区嵯峨鳥居本仙翁町)
※実際の店舗名は「京都・貼茶屋 平野屋」



令和6年

令和7年

12月21日(土) ▶ 2月23日(日)

開館時間 午前10時から午後6時まで ※入館は午後5時30分まで

会場 池波正太郎真田太平記館 1階企画展示室

休館日 毎週水曜日 ※年末年始 / 12月29日(日)~令和7年1月3日(金)
※振替休館 / 1月14日(火)、2月13日(木)

観覧料 一般400円、高・大学生260円、小・中学生130円
※市内の高校生以下は無料 ※団体・障害者手帳所持者割引あり



○北陸新幹線・しなの鉄道上田駅から徒歩10分 ○上信越自動車道上田菅平ICから車で10分
※大変申し訳ございませんが、当館には駐車場がございません。
お車でのご越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

池波正太郎真田太平記館

〒386-0012 長野県上田市中央3-7-3
TEL.0268-28-7100 FAX.0268-28-7101
https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ikenami/

写真展

東京都台東区 池波正太郎記念文庫 姉妹館連携事業

『鬼平犯科帳』の

舞台を歩く

池波正太郎の代表作の一つである『鬼平犯科帳』は、“鬼の平蔵”の異名を持つ火付盗賊改方長官・長谷川平蔵の活躍を描いた時代小説で、池波作品の中でも『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』とともに「三大シリーズ」と呼ばれ絶大な人気を博しています。昭和42(1967)年、「オール讀物」に発表されてから50年以上経た今もなお多くのファンに愛され続け、新たに映像化されるなど幅広いメディアを通し、その魅力が発信されています。

今展では、物語の舞台となった東京・京都を取材し、長谷川平蔵の役宅がある江戸城・清水門外（現・千代田区役所付近）や、平蔵が同心・木村忠吾と鯉料理に舌鼓を打った京都・愛宕神社にある掛け茶屋「平野や」(※実際の店舗名は鮎茶屋 平野屋)など、物語の中で印象深く登場する場所の現在の様子を、関連資料とあわせて写真展示します。

様々な風景から、物語の場面や登場人物たちに思いを馳せつつ、ぜひ『鬼平犯科帳』の世界をご堪能ください。



浅草・御厩河岸 (東京都台東区蔵前)



江戸城・清水門外 長谷川平蔵の役宅 (東京都千代田区九段南)



京都・北野天満宮境内 紙屋川 (京都市上京区馬喰町)



京都・掛け茶屋〔平野や〕 (京都市右京区嵯峨鳥居本仙翁町)
※実際の店舗名は「京都・鮎茶屋 平野屋」

池波正太郎真田太平記念館

〒386-0012 長野県上田市中央3-7-3
TEL.0268-28-7100 FAX.0268-28-7101
E-mail: i-taiheikikan@ueda.ne.jp
<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ikenami>

